

# 能登半島地震

—現場でのJMATと課題—

関西医師会連合常任委員会

令和6年8月3日  
石川県医師会 安田健二

1

## 能登北部の震災は島嶼部の震災

道路交通網の遮断

情報が上がってこない

多数の孤立集落（限界集落）

困難な救援活動

ライフラインの遅い復旧

少子高齢化

医療過疎

**雪国（寒冷・積雪）**

多い高齢者施設

各地区住民の気質の違い

2

# 能登半島の人口動態・医療資源

		人口	人口増減率* <sup>1</sup>	高齢化率	医師偏在指標* <sup>2</sup>
能登中部	2市3町	117,998人	-7.97%	39.8%	190.6(128/335)
能登北部	2市2町	61,144人	-10.38%	48.8%	92.9(320/335)
石川中央	4市2町	729,320人	+0.15%	26.4%	361.6(16/335)

日本医師会のJMAPIによる(2024.03.01)



能登中部: 七尾市 羽咋市 志賀町 宝達志水町 中能登町

能登北部: 輪島市 珠洲市 穴水町 能登町

石川中央: 金沢市 かほく市 白山市 野々市市 津幡町 内灘町

\*1 2015年~2020年の人口減少率

\*2 令和2年

## 能登北部・中部の医療介護資源

能登北部は介護資源が全国平均を上回っている

	診療所	病院	医師数	介護施設	入所定員	介護職員数
能登北部	38	5	112.00	158	1,498	1,354.18
能登中部	62	8	256.00	244	2,896	2,030.33
石川中央	516	58	2,340.00	1,158	10,634	7,259.28

日本医師会のJMAPIによる(2024.03.01)

広域避難した高齢者の戻り対応が課題となる

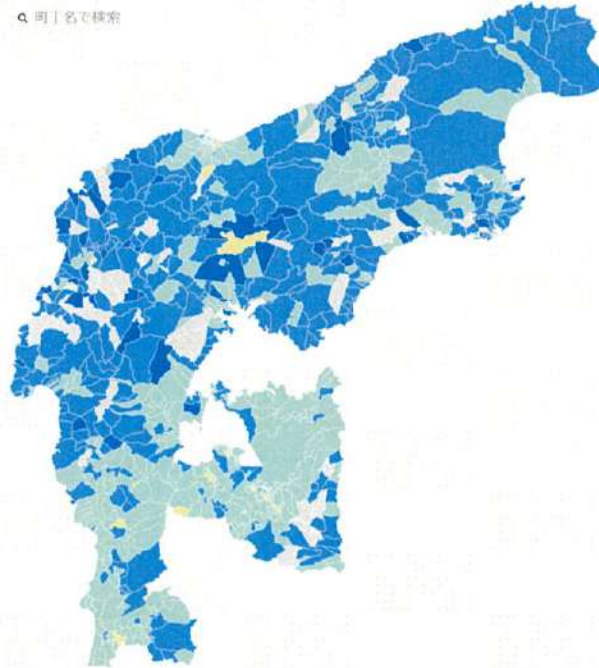
避難先の地域ではすでに施設入居者が定員を満たしており避難者に対応できる介護職員が不足

**実は高齢者搬送には戻し搬送の際の  
介護職員の雇用問題が隠れていた**

# 能登半島における限界集落 (高齢化率50%以上の集落)

被災自治体の高齢化率  
クリックやタップで町丁別の高齢化率が表示されます  
高齢化率(%) 0.5 25 50 75 100

町丁名で検索



珠洲市、輪島市、穴水町、能登町、七尾市、志賀町、羽咋市の町丁別の65歳以上人口の割合。2020年の国勢調査から作成。灰色は、人数が非常に少ないために統計上非公開または0人の地区

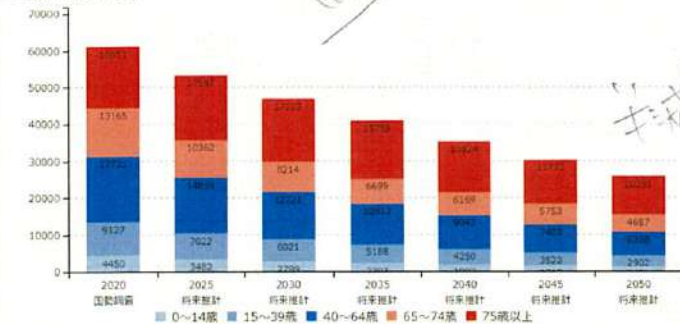
● A Flourish map

# 能登北部における将来推計人口

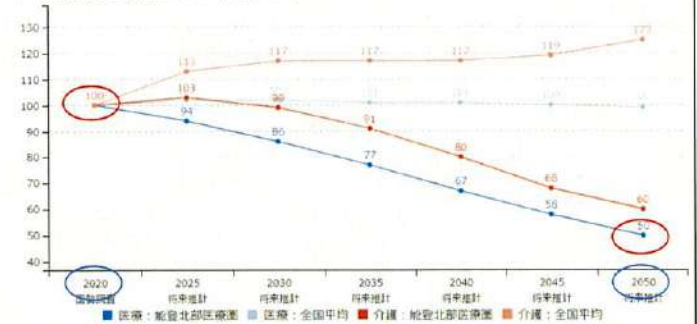
将来推計人口

年齢階層	国勢調査		将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所 2023年12月推計)					
	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	
年少人口 (0~14歳)	4,450	3,482	2,799	2,293	1,987	1,713	1,431	
生産年齢人口1 (15~39歳)	9,127	7,022	6,021	5,188	4,250	3,522	2,902	
生産年齢人口2 (40~64歳)	17,721	14,855	12,721	10,913	9,043	7,403	6,328	
高齢者人口 (65歳以上)	29,816	27,959	25,341	22,487	19,993	17,546	15,078	
後期高齢者人口 (75歳以上=再掲)	16,651	17,597	17,127	15,788	13,824	11,793	10,391	
総人口	61,114	53,318	46,882	40,881	35,273	30,184	25,739	

将来推計人口 (人)



医療介護需要予測指数 (2020年実績=100)



■ 将来推計人口：国立社会保障・人口問題研究所 (2023年12月推計)

人口半減は20年後だと思っていたが、復興に手間取るとタイムスリップしてそこに20年後が来ている 6

# 令和6年 能登半島地震

2024年01月01日16時06分 5強  
 2024年01月01日16時10分 7  
 2024年01月01日16時18分 5強  
 2024年01月01日16時56分 5強  
 2024年01月02日17時13分 5強  
 2024年01月03日02時21分 5強  
 2024年01月03日10時54分 5強  
 2024年01月06日05時26分 5強  
 2024年01月06日23時20分 6弱

## 2 人的・住家被害等の状況（消防庁情報：4月23日14:00現在）

### (1) 人的・住家被害

都道府県	人的被害					住家被害						
	死者	行方不明者	負傷者			合計	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損	合計
			重傷	軽傷	小計							
人	人	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
新潟県			5	44	49	49	105	2,984		14	19,485	22,588
富山県			3	44	47	47	238	711			15,807	16,756
石川県	245	3	315	876	1,191	1,439	8,217	15,661	6	5	54,187	78,076
福井県				6	6	6		12			579	591
長野県											18	18
岐阜県				1	1	1						
愛知県				1	1	1						
大阪府				5	5	5						
兵庫県				2	2	2						
合計	245	3	323	979	1,302	1,550	8,560	19,368	6	19	90,076	118,029

※新潟県の公表資料において新潟市の住家被害(罹災証明申請数)は本表に反映していない  
 ※富山県の公表情報において住家被害の「未分類」と表記されている情報は本表に反映していない  
 ※石川県の死者数は石川県の公表資料に基づく

#### 《死者の内訳》

【石川県】七尾市5人、輪島市106人、珠洲市103人、羽咋市1人、志賀町2人、穴水町20人、能登町8人

# 2024/01/07時点 道路状況+孤立集落



# 2024/01/06時点 道路状況+避難所



## ライフラインの被害状況

### ○水道の被害状況 断水の状況(厚生労働省情報:1月2日 7:00 時点)

- ・石川県金沢市、輪島市、珠洲市、羽咋市、七尾市、かほく市、内灘町、宝達志水町、津幡町、中能登町、能登町、穴水町、志賀町において断水

現在は水道本管の通水率は90%を超えているが、本管から宅内配管までの通水は滞っており、また宅内配管の破損も多い。下水道の復旧が遅滞しているため、避難所生活を余儀なくされている被災者も多い

### ○電力(経済産業省情報:1月2日 7:00 時点)

<北陸電力管内>

- ・停電状況 石川県:約 32,700 戸(輪島市約 8,300 戸、珠洲市約 8,100 戸 他)
- ・石川県に立地する発電所(北陸電力) 原子力発電所:志賀原発1号機 54 万 kW, 2号機 120.6 万 kW ※いずれも本地震前から停止中
- ・火力発電所:七尾大田火力 120 万 kW 停止(石炭 1号 50 万 kW)

- ・2月28日 13:00 時点で石川県内の停電は、概ね復旧した状況  
電力は自然災害時において1週間程度で復旧するといわれている。

### ○通信関係(総務省情報:1月2日 6:30 時点)

- ・携帯キャリア各社が軒並み能登中部・北部を中心として多くの支障エリアが拡がる  
(各社車載型基地局、可搬型基地局計で支障エリアを応急復旧)

- ・JMATチームの2次災害を防ぐため、活動の立ち上がりは慎重に行い、重装JMATチームと標準JMATチーム、軽装JMATチームに分けて支援活動を行った

11

## Problem list #1

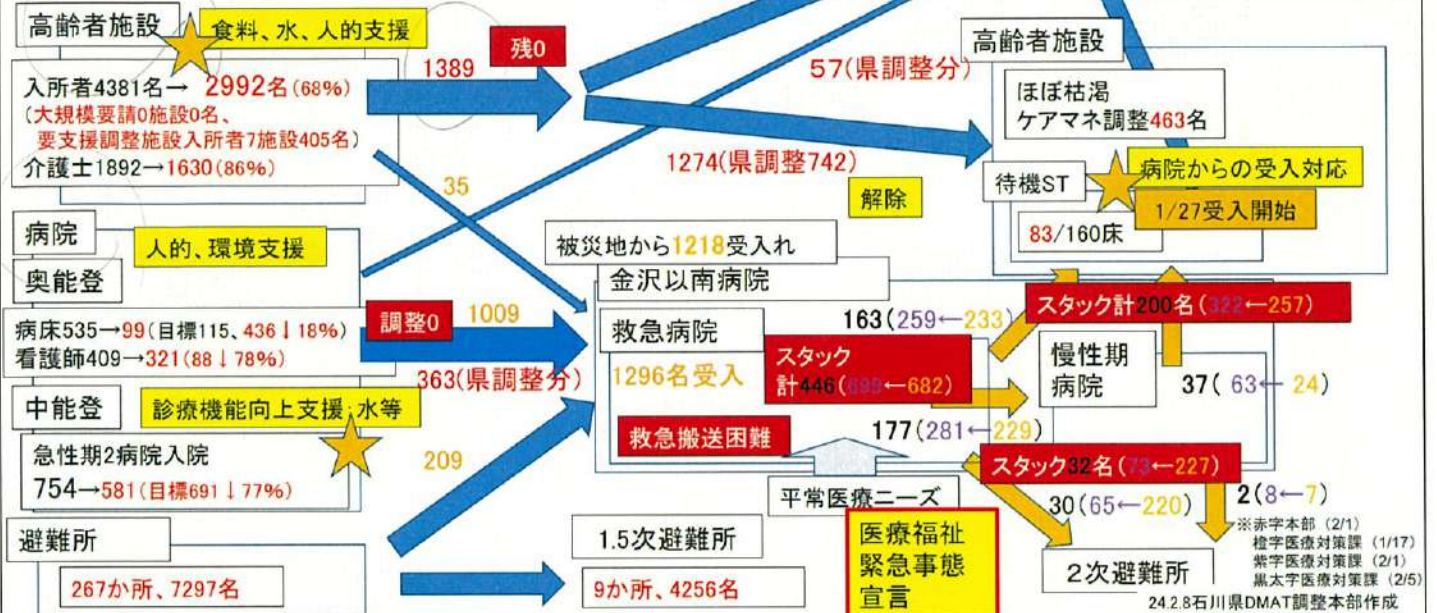
- 雪国の冬季の自然災害は積雪などの悪天候や道路の陥没のため、四駆あるいはFFの自動車が望ましい。また、携帯電話基地局の損壊により携帯通信が繋がらなくなることもある。万が一の為に発災直後は衛星携帯を持つこと、車中泊も可能な装備が求められる。JMATも経験・専門性によりカテゴリー別のチーム編成が必要である。
- ご支援をいただき被災地としてはまず県外JMATチームの安全を願っており、2次災害を防ぐためにも待つのも仕事であることを認識していただきたい。

12

## 能登地震医療福祉機関の現状と対策 別図1

- ・ 高齢者率の高い(50%以上)地域の被災
- 背・ 病院機能の著しい低下
- 景・ 被災地環境整備困難による支援者投入の限界
- ・ 高齢者の遠隔搬送は幸せを保証するの

状況の把握と関係者共有



## Problem list #2

- ・ 高齢者施設から多数避難させると介護スタッフの雇用がなくなり、スタッフが次の就職の為に離職することも多々ある。戻し搬送を行うときには高齢者施設のスタッフがなくなり、入所者を受け入れられなくなる。病院は退院する高齢者の患者の受け皿となる高齢者施設がなくなると自ら介護医療院を運営することになる。周囲の状況や戻し搬送を考慮して入所者の多数避難を検討しなければならない。
- ・ 被災地からの患者を引き受けた医療機関はStuckを生じ、医療提供体制に支障をきたした。引き受け医療機関と後方連携病院や高齢者施設との情報共有するスキームが必要である。

# Problem list #3

- JMAT活動の広報は不可欠である。
- ①2次避難所、被災地へ支援活動を行っているにもかかわらず、石川県医師会は何もやっていないとの非難があった。
- ②能登北部へJMATチームが入った際に「DMATの活動のおかげで落ち着いたあとで今頃何の活動ですか」と非難があった。
- ③行政はDMAT,DHEAT,DPAT,日赤の活動を認めるが、JMATはその他のチームと一緒にされる。

15

## 被災地現場でのJMAT活動とその課題

- 被災地の1次避難所への巡回診療支援 → DMAT、日本赤十字とJMATの役割分担と連携
- 被災地避難所の巡回診療および見守り支援 → 「大丈夫、大丈夫」は「大丈夫ではない」
- 被災地の診療所の診療支援(発熱外来支援を含む) → 被災地現場の医療提供体制の枯渇
- 被災地外である金沢以南の2次避難所の巡回支援 → 個人情報との壁でJMATチームの門前払い
- 被災した診療所や病院の片付け、設備や物資の支援 → 「よろず何でも屋」に徹する覚悟
- 人手不足に陥った診療所への看護師、事務員の派遣支援 → 労働者派遣法との兼ね合い
- 診療所3カ所および救護所2カ所の仮設医療コンテナの設置・支援 → 災害救助法と災害ブローカー
- 歯科医師会、薬剤師会、獣医師会などの関係団体との連携支援 → 備蓄薬剤・処方薬剤の配布
- その他、被災者健康支援連絡協議会の関係団体と連携 → 医師会主導の定期的なミーティング開催
- DVTチーム、DMチーム、DICTなど各学会・各医会の活動支援 → 窓口は？責任者は？
- 能登北部・中部地区の高齢者施設への巡回・物資支援 → 医療DXを使った専門的処置 差し入れ
- オンライン再診システムによるかかりつけ医の支援 → 繋がりが復興支援の端緒となる
- 診療車活用による診療所が被災したクリニックへの運用支援 → 医師の巡回に限界 初期診療が可能
- ヘリや車両を活用した、かかりつけ医の再構築支援 → ヘリ調達のネットワーク
- 被災地域の医師会運営支援 → 医師会が地元の対策本部に入ることが必要
- 被災地行政および保健機能への支援(災害時の運用など) → スキルを持ったロジスティックの重要性
- 高齢者施設の嘱託医再構築支援・高齢者施設への医療および介護支援 → その後の福祉へ繋がる
- 学校集団疎開の学生および教員への感染対策支援および健康相談と巡回診療の支援 → DICT
- 学校集団疎開時の代理学校医への支援 → 大学小児科医局へ応援

16



# 謝辞

今回の令和6年能登半島地震におきまして、中部医連、近畿医連の先生方には多大なるご支援をいただいたことに衷心より御礼を申し上げます。

今回ほど日本医師会の繋がりを心強く、また誇りとして感じたことはございません。

石川県民を代表してみなさまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

石川県医師会としましてもこれからは微力ではありますが、能登の復興に協力していく所存でございます。